

# 財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 九重町

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
1,459	2,148	179	3,786

## 1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	7,299	6,941	358	352	398	5,362	基金より395百万円繰入
同和住宅資金貸付事業特別会計	1	1	0	0	-	2	
飯田高原診療所特別会計	69	68	1	1	3	-	
玖珠老人養護組合清算事業特別会計	167	167	0	0	-	-	
一般会計等	7,503	7,143	360	354		5,364	

## 2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道特別会計	158	142	16	16	20	835	277	
国民健康保険特別会計	1,666	1,651	5	5	186	-	-	基金より85百万円繰入
老人保健特別会計	1,505	1,505	0	0	75	-	-	
介護保険特別会計	1,218	1,215	2	2	191	-	-	
介護サービス事業特別会計	28	28	0	0	19	-	-	
公営企業会計等 計				23		835	277	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。  
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。  
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数( - )で表示している。  
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

## 3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
日田玖珠広域消防組合	1,608	1,601	7	7	108	150	18	基金より108百万円繰入
玖珠九重行政事務組合	1,059	1,019	40	40	-	2,282	474	
大分県退職手当組合	4,484	4,448	36	36	-	-	-	
大分県消防等補償組合	370	369	1	1	-	-	-	
大分県市町村会館管理組合	51	46	5	5	-	-	-	
大分県後期高齢者広域連合	1,100	1,009	91	91	-	-	-	
一部事務組合等 計						2,432	492	

## 4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
(財)大分県産業創造機構	59	2,149	0	0	-	-	-	-	県所管第三セクター
地方公社・第三セクター等 計			0	0					

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

## 5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		518	
減債基金		1,457	
その他充当可能基金		2,625	
充当可能基金計		4,600	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

## 6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	8.07	9.34	1.27	15.00	20.00	水道特別会計		16.1	
連結実質赤字比率		9.94		20.00	40.00				
実質公債費比率	2.2	3.1	0.9	25.0	35.0				
将来負担比率		-		350.0					
財政力指数	0.37	0.36	0.0						
経常収支比率	87.6	89.5	1.9						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数( - )で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。  
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20% である(公営競技は0%)。